

## 2025 年度土木施設調査報告（2025 年 11 月 13 日開催）

## － 神戸市発展の礎となった明治期の神戸港周辺および背後地の土木・建築施設調査 －

神戸市中央区の布引五本松堰堤を始点として、下流の生田川および神戸市発展の礎となった神戸港周辺の土木・建築施設を調査しました。

対象施設の内、布引五本松堰堤につきましては管理者の神戸市水道局の方から案内いただき、布引五本松堰堤上流部にある締切堰堤では通常閉鎖されている堤体部に入ることができました。布引五本松堰堤の建設、維持管理や 1995 年の阪神・淡路大震災時の被害と復旧補強方法について詳しく説明を受けました。

その後、生田川付け替えの歴史、新神戸駅の断層への対応、神戸市立生糸検査所と神戸税関の歴史を学び、日本最初の臨港線の神戸港駅跡を巡り、神戸居留地下水渠を通り、最後は三宮駅近くで反省会を開催し終了しました。神戸市、神戸港の重要な歴史と機能の変遷を学ぶ貴重な機会となりました。

1. 開催日時：2025 年 11 月 13 日(木) 9:00～17:00

2. 集合場所：神戸布引ハーブ園ロープウェイ山麓駅

3. 参加者 12 名

会 員：青木伸一、石原靖弘、今岡亮司、祝賢治、宇野宏司、栗田秀明、齋木亮一、清水文夫、野坂俊雄、坂東真一

ゲスト：小森千賀子（琵琶湖疏水アカデミー代表）

前畑温子（NPO 法人 J-heritage 戦略企画室室長、湊川隧道保存友の会幹事）

4. 調査対象施設

①**布引五本松堰堤**：管理者 神戸市水道局，1900 年完成，1995 年～耐震補強等工事

歴史的価値等：国指定重要文化財，衛生環境改善のための挑戦的市営事業，未経験技術への挑戦

わが国初のコンクリート堰堤，濁水分離システム，阪神・淡路大震災のクリアと補強

②**生田川**：管理者 兵庫県，1871 年付け替え

歴史的価値：明治初期，超短期に大規模な付け替えで三宮周辺の洪水対策と都市基盤整備を同時達成

③**新神戸駅**：管理者 JR 西日本，1970 年完成

技術的価値：六甲山麓の活断層上にあり，将来的な地盤変位を考慮した特殊な設計がなされた橋梁駅

④**神戸市立生糸検査所**：所有者 神戸市，1927 年完成

見どころ：神戸の近代化を支えた港湾地区の景観を形成する近代建築

⑤**神戸税関**：管理者 財務省神戸税関，旧本館庁舎 1927 年完成，現行庁舎(震災後改築)1999 年完成

魅力・特徴：時計塔のある外観や美しい玄関ホールの保存再生を達成した神戸港のシンボル建築

⑥**神戸臨港線**：1924 年神戸港駅まで延伸

歴史的価値：神戸の物流を支え，近代化に貢献した貨物線ターミナル跡

⑦**神戸居留地下水渠**（土木学会選奨土木遺産）：1872 年頃竣工

歴史的価値：横浜居留地とほぼ同時期に建設されたわが国最古の近代下水道の先駆け

5. 行 程（ロープウェイ・バス移動以外は徒歩移動）

9:00：神戸布引ハーブ園ロープウェイ山麓駅集合→風の丘駅下車，9:30～11:30 布引五本松堰堤関連施設見学→12:30～生田川公園見学（昼食），13:00～新神戸駅：神戸ループバスで移動→13:30～神戸市立生糸検査所，神戸税関，神戸臨港線神戸港駅跡，神戸居留地下水渠視察→17:00 三宮駅→解散

6. 写真



図1 神戸布引ハーブ園ロープウェイ風の丘中間駅



図2 上流分水堰堤 濁水分離堰堤



図3 上流分水堰堤 管理橋日本初 RC 開腹アーチ橋



図4 堰堤集合写真



図5 五本松堰堤左岸



図6 砂子橋 水路橋 (3 径間連続レンガアーチ橋)



図7 布引の滝周辺ガイド版



図8 生田川親水護岸

(<https://parkful.net/2016/10/ikutagawa-park/>)



図9 近代建築 Watch 旧神戸市立生糸検査所  
(<https://hardcandy.exblog.jp/6966505/>)



図10 神戸税関玄関ホール



図11 神戸臨港線 神戸港駅跡



図12 神戸外国人居留地下水渠 (土木学会選奨土木遺産)

7. 調査地点



図 13 土木施設調査地点